羅臼町民が主体となった草刈り



第5回ダイキン工業ボランティア

7

コストと時間がか のものや維持管理に大変な く長い羅臼町すべての地域 しかし、電気柵は設置そ かり、 細

フキなど背丈の高い藪の刈 度からは地域住民とともに への導入は現実的ではあり そこで2019年

経った今、

付き合いが始まって

10 年

は単に現地での

拡げてくれています。

たちのすそ野をじわじわ てくれ、興味関心をもつ人 と人のことをまわりに伝え

ダイキン工業と知床のお

の安全も守るため、このプ ロジェクトが稼働していま てそのすぐ側で生活する人 がら暮らしています。そし 床の土地を上手に利用しな 森の象徴的な生き物で、 た。ヒグマはいわば知床の 7㎞の電気柵を設置しまし

·払いを行い、住宅街のま しないように、

> 延べ参加人数で196 知床ボランティアは計18回、 るダイキン工業社員による

結果となるような街づくり てもヒグマにとってもよい グマが隠れたり餌場にした わりの見通しを良くしてヒ

人にとっ

職員の方々が自宅や会社に

ボランティアに参加し

10年間で築かれたもの

「知床の仲間」ができたこ た大きな成果といえるのは 当初から続いてい 築き上げられ 労力の提供だけ ダイキン工業と くれています。 たちを後押して な力となって私 ではない、大き

とです。

ンティアによっ 築き上げれ まさにボラ い切って・ ちだ

仲間た

みらいの知床へ

~ダイキン工業株式会社からのメッセージ~

の10年間の賜物

従業員の「知床に行きたい!」というひとこ とから始まったボランティア派遣でしたが、10 年たった今では寄付だけでは見えない価値を 感じています。知床財団の職員と一緒に草を 刈ったり、幼苗を植えこんだり…回を重ねるう ちに、長期的な視点を持ちつつも、地道な取 り組みを重ねることの重要性に気づくきっかけ をいただいています。これは当社の事業活動 にとっても重要なこと。自然環境問題を「自分

ごと」として考えられる人材 の育成にも役立っています。 次世代に豊かな未来を継い でいく仲間として、今後も 共に歩んでいきたいと思っ ています。



洲上 奈央子さん (CSR・地球環境センター)

次世代へ

年先、 活動を続けていくには、 長い年月をかけて自然保全 続けています。それだけの 現場では50年先、 間がかかります。 本が成長するのにとても時 厳しい環境下のために木1 メージしながら森づくりを 知床は寒冷で風も強く 200年先の森をイ そのため、 1 0 0

森づくり、 戻ったあと、

電気柵やヒグマ

知床の自然や

る思い、 の世代へと森づくりにかけ いく必要があります。 その意義を伝えて

の子どもたちが知床の自然 に親しみ、その価値を感じ での活動にも支援をいただ てもらえるような自然の中 これらの事業では、 地元 活動レポート①

企業支援の軌跡

- ダイキン工業と歩んだ 10 年 -

文一 山本幸 普及企画係

2011



間500万円の寄付くむ森プロジェクト」・年ま業の開始・「空気をはぐ第二期ダイキン工業寄付

ています。 社員ボランティア活動での公募によって毎回集ま ちらも10年目の節目を迎え ご協力いただいてお 公募によって毎回集まる り ŧ

斜里町、

羅臼町、

そして

知床財団は20

1 1 1 年 に

す。に紹介させていただき た。その内容の一部をここ でその成果を共有しまし の報告会を行い、 10月にはこれまでの事業 関係者間

は寄付だけではなく、

社内

ダイキン工業からの支援

なりました。

2021年度で10年目を迎 んできました。その支援は 全活動の一部に共に取り組 び、森づくりなど知床の保 社:大阪) と4者協定を結 ダイキン工業株式会社(本

総額は1億3千万円と

防鹿柵の設置知床の森づくり

事業の開始
東京の開始
東京の開始
東京の開始

知床ボランティア開催第一回ダイキン工業社員

樹を植え、木々が成長する までシカが入り込めない高 林の代表選手、 で防鹿柵を作ることから始 森づくりも、岩尾別川沿い いです。ダイキン工業との してきたのは、シカとの闘 まりました。柵の中に河畔 りの歴史の中で最も苦労 20年以上続く知床の森づ カツラの稚

5年間で1億円の寄付2011を

5年間で設置した柵の総延 年の 成を試みています。 さの柵で守り、

河畔林の育

防鹿柵をたてるダイキン工業ボランティア



2021 年秋に造られた簡易魚道



羅臼町に設置された電気柵

魚道整備の改善

ています。 らすことのできる森を目指 ではなく、多様な生物が暮 では、単純に木を植えるの 目が目標の一つに掲げられ 「生物相の復元」という項 しています。 例えば、 森づくりの計画の中では 魚が本来遡上す 知床の森づくり

積にして約2ヘクタールに 長は1231メー ル

街地エリアと海沿いの漁業 の軋轢を避けるため、 市

するようになれば、その うに魚が川の上流にも生息 フクロウなどのエサ資源に たちは森の奥に暮らすシマ 行っています。 為的に整備する取り組みも る川の上流部まで支障なく もなると考えています。 上がれるように、 かつてのよ 魚道を人 魚

人を守る街づくりヒグマと

活動エリアを中心に総計約 羅臼町では、 ヒグマと人

| SEEDS | 7 | | SEEDS | 6 |

ウィーク 開催 それは、このイベントが知床国立公園 と疑問に思う方も多いかもしれません。 げて開催されました。 ナブルウィーク』という新しい名前を掲 「どうして何度も名前が変わるの?」

活動レポート②

知床 サスティナブル

2021.10/1-10/10

は、2020年にはより複合的な視座 を持つ『知床オータムフェス』へと生ま さらに今年は『知床サスティ

ムフェス』として始まった秋のイベント

2018年に『知床アウトドアフィル

のより良い利用と保全のあり方を模索

2021.10/1-10。 知床自然センターとその周辺エリア

Shiretoko

Sustainable Week

知床自然センターを中心とするホロベ

国立公園内の適正なアクセスコン 『知床オータムバス

デイズ』と名付けられたこの取り組み 利用と環境保全の両輪として機能する までをシャトルバスで結ぶ試行事業も ティビティの祭典として始まりました。 ツ園地の魅力向上を目指す映像とアク ようになりました。 開始され、これによってイベントは観光 ウトロ市街地からカムイワッカ湯の滝 その後の『知床オータムフェス』では、

ネイチャーガイドによるトレッキングツアーも好評





るでしょう。 創意工夫が、このイベントには詰め込 する実践的な取り組みだからだと言え 地域の様々な試行錯誤と



ウトロ灯台を一般公開(10月9日限定)



岩尾別ふ化場を特別に見学できるバスツアー





クと向き合う必要があります。そのた 供するには、怪我や混雑といったリス

知床自然センターを拠点としたレ

の場だけでなく、「学び」の場へと深化

配信もおこなわれ、

ンをとりながら、

着実に歩んでいきた

| SEEDS | 9 |

りを、地域の皆さんとコミュニケーショ ものだと信じています。この長い道の うな日々の積み重ねから生まれてくる 知床のサスティナビリティとは、このよ

した。これらのトークはオンラインでの ティナビリティへの気づきが提示されま 化や芸術といった多様な観点からサス 環境・エネルギーやゴミ問題・地域文 の滝の上流部を16年ぶりに公開する試

そして今年の

のサスティナビリティについて改めて考 今回のイベントの核となったのが、知床

発信することを目指した「サスティ

指すものは、

これらの取り組みをフェ

とに進歩し続けています。

私たちが目

せながら、このイベントは年を追うご

域内外からゲストをお迎えし、産業や ナブルトーク」です。トークでは、地

当たり前の毎日にしていくことです。

スという特別な一日の出来事ではなく、

方を模索した取り組みでもありました。 はコロナの時代におけるイベントのあり

魅力創出…。

いくつもの思惑を膨らま

マをめぐる軋轢の緩和、多様な知床の

より良い国立公園の楽しみ方、

ヒグ

性溢れる場が創出されました。

作品の発表など、これまでにない多様 然をテーマにした絵画やパフォーマンス クカフェに活用するワークショップ、

カムイワッカ上流部の利用者へのレクチャー

『知床サスティナブルウィ

<u>ر</u>

- ク』では、

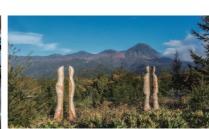
さらにカムイワッカ湯 『知床サスティナブル

の危険から立入が禁止されている「一 みもおこなわれました。これは、落石

以奥の利用再開を検討するもの

カムイワッカ上流部の真価を提

石井明日香氏とごとうまきこ氏による絵画展



ソマツ間伐材を彫刻作品に昇華させる

トプロジェクトや、

開拓小屋をブッ

こ100平方メー

トル運動地のアカエ

魅力として定着しつつあります。

内から安全に野生動物との出会いを楽

しめる体験を目指して、今回もこの社

長年問題となっているヒグマへの過剰接

試みられました。

る創作活動も、

イベントを彩る新しい

させるものになりました。

アーティストや地域クリエイターによ

り換えなど、一体的な仕組みづくりが クチャーの受講や、シャトルバスへの乗

ビスの両立を目指すものです。

交通渋滞を防ぎつつ、

バスの車

トロールと、移動そのものを楽しめる





